

平成25年6月3日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
代表者名 金子昌義 印
(広報部 西野 佳彦)

記

| | |
|----------|--|
| 事業の内容 | ①広報紙発行事業 年2回(7月1日配布 1月1日配布) ②細河ホームページ維持管理事業 ③細河ポストカード作成 ④細河ハイキングマップ作成 |
| 事業実施前の状況 | |
| 事業の効果 | |
| 今後の課題 | |

平成21年 5月 1日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
代表者名 金子昌義 印
(住宅環境部会 巽 博一)

記

| | |
|----------|---|
| 事業の内容 | ①LED街路灯設備事業 ②里山環境管理事業 ③剪定リサイクル事業 ④ホタル育成事業 |
| 事業実施前の状況 | ①協議会発足当時はもったいないとか贅沢とかでたたかれたが大震災と原発事故でLEDと太陽光熱が注目を浴びLEDが当たり前となった。 ②細河地区ではも音も大事なことだが、協議会予算ではどうにもならない。 住民と会員に大切さの意識を植え付けるだけ。 ③協議会として勉強し知識を高めるだけ。 ④今年も去年より多く飛びます。 |
| 事業の効果 | ①住民は池田市の街灯がいかに暗いかを改めて認識した。 ②中途半端に協議会資金では難しい事を痛感した。 ③国なり環境庁が予算を組んで考えねばならない ④牧歌的に協議会で出来る事とはこの程度です。 |
| 今後の課題 | |

平成25年5月31日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 金子昌義 (金子) 印
 (福祉部 法貴 啓子)

記

| | |
|----------|---|
| 事業の内容 | ①細河地区の高齢者への週2回(水・金)昼食弁当を申込者へ宅配する事業 週2回といえども必ず本人在宅確認を原則として話掛けている。(安否確認) ②元細河幼稚園を配食センター改修工事業 |
| 事業実施前の状況 | ①配食サービス事業も開始以来年数を経過したので、受給者高齢者にも理解され順調にコミュニケーションが取れるようになりました。 配食製造スタッフ側も業務になれ配達も順調になりました。 現在の製造場所が人権センターですので、9:00～12:00の週2日ですので時間的に少なく能率よく行わなければなりません。 ②初めての事で何かにつけて水道・ガス設備の見積もりが予想しにくかった 老朽化した建物で食品加工場に改修には予想外にコストがかかった。 |
| 事業の効果 | ①配食の短期間中止を避けるために、協議会会員が・水道・ガス設備等の場所の草刈り・整地等を積極的にしてもらい業者の施工工事がスムーズに行われた。これが協議会全体の団結力を高めた事もあります。 結果的に配食サービスも1日も休むことなく続けられました。 ②快適な配食センターが落成し作業もしやすく、従事するスタッフも5名から4名に削減できました。間借りでなく専用センターですので料理により早めに仕込む事もでき配食のメニューにも工夫ができます。 |
| 今後の課題 | ①折角の立派な設備もでき製造能力も高まりましたので、受注量を増やすため宣伝PRし、伏尾台地区にも宣伝する。 |

平成27年6月3日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 金子昌義 印
 (教育部会長 谷端 隆)

記

| | |
|----------|---|
| 事業の内容 | ①細河コミュニティ道路整備事業 ②子供育成事業 ・プールイベント事業 ・イモ掘り・アイススケート ③グランドゴルフ場 トイレ設備工事 ・草取り維持管理 |
| 事業実施前の状況 | ①急こう配の山道であるが、児童の通学には短時間でかなりの生徒が登校下校に使用している。伏尾台協議会との協働事業。 ②協議会設立前から伏尾町であったが、児童の減少で細河全体の子供会に ③久安寺敷地をグランドゴルフ場に開墾。今年度はトイレ設備設置と維持管理 |
| 事業の効果 | ①下仕事は細河協議会会員の献身的なボランティアで地ならしを行い、舗装工事は専門業者に発注。予算の関係で今年度は半分の距離の舗装を完了した。引き続き来期もより良いコミュニティ道路建設に工夫したい 最近では生徒だけでなく、伏尾台の大人の方も久安寺の蕎麦屋(かやの木)へこの道路を利用する方もある。 ②地元の不死王閣さんの協力・地元の造園業者の畑地無償貸与と栽培指導 地元住民への協議会活動の周知度を高めた。 ③高齢者の近場での運動レクリエーション参加を高めている。 |
| 今後の課題 | ①半分が完成して初めて伏尾台協議会に必要性が認識された感あり。 秋には落ち葉が多く滑りやすく危険ゆえ落ち葉掃除が必要。生徒の登下校の時間帯に見張りガードマンも必要性あり。 ②地域内の住民・業者のご理解とご支援のお陰で細河の子たちは貴重な経験をさせて貰っている。子供たちに自然の大切さ・してはいけない事を会得させ環境を守っていききたい。 ③細河地区は特に高齢化が激しい、福祉部の配食弁当事業と合わせ閉じこもり老人をなくし、今後は子供会と高齢者介護を合わせて企画して行きたい。 |

平成27年5月3日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
代表者名 金子昌義 印
(地域観光部会 山脇 英生)

記

| | |
|----------|---|
| 事業の内容 | ①関西大学との共同で細河の植木産業に目を向け、繰り返し訪問してもらうように細河フェアを企画した。 ②細河まつり開催 補助 ③JA細河支部に設置されているチャイムが経年劣化で故障。修理復活事業 ④五月山散策道路の維持管理事業 |
| 事業実施前の状況 | ①池田市民でも細河には来た事がなく、植木産業の歴史ある産地である事を知らない市民が多い。こんな近くに自然豊かなところがある事をPRしよう。 ②歴史ある細河まつり。今年は29回目を迎えた。 ③壊れたまま放置されている。 ④表の五月山道路は人も車も多いが、墓地案内看板のみで何の魅力もない。人の交通が少ないので倒木雑草が多く、歩行が困難。 |
| 事業の効果 | ①あいにくの雨天で細河の魅力を満喫とはいかなかったが、関大生の企画で若い人が多く参加してくれた。 ②毎年の事ですが、小学校卒業生や嫁いだ娘さんも里帰りして盛大に開催。余野川の魚つかみ大会は好評でした。 ③午前11時と午後4時のトレイチャイムは懐かしく細河全体に響き好評です。 ④細河訪問者の意見ですが、“裏五月山の姿が一番美しい！！”山々の春夏秋冬の色の変化、田植えがあり、稲刈りがあり、こんな素晴らしい所が歩いてこれる場所にある。 |
| 今後の課題 | ①今までは細河全体を知ってもらう企画をしていましたが、本当に細河の魅力に魅力を感じる方に絞って、植木畑の季節の変化、植木の管理、田植え稲刈り、天日干し、ホテルの乱舞、野鳥の声、等をアピールしていきたい。 ②これは今後も盛大に継続されるでしょう。 ③時間的には迷惑になることなく、故障が起きてもすぐにメンテしていきたい。 ④池田駅前から歩いて4～5Kの距離、バス料金210円片道、2～3時間散歩して自然を満喫できる場所として宣伝していきたい。 |

平成25年 5月3日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
代表者名 金子昌義 (金子) 印
(販売部会 柏木 博)

記

| | |
|----------|---|
| 事業の内容 | ①毎週土曜日朝9:00~11:00朝市開催 地元野菜の販売 |
| 事業実施前の状況 | ①毎週土曜日朝9:00~販売開始で客が殺到しバーコードレジスター化のおかげで待ち時間も少なくなったが、朝一番に40~50人が会計に並ぶ。 レジ打ちスタッフの他に仕分けスタッフを2名と袋詰めスタッフ1名でさばく ②レジスターを販売場所に移して作業するが、夏の炎天下と冬場の寒冷時露天に設置する事はコンピューター機械類には適せずたびたびの故障が発生。 |
| 事業の効果 | ①固定客も増え、遠方からのお客も増えた。食してきて新鮮さを確認し関東方面の放射能汚染の野菜を孫に食べさせられないと細河で買い求めてわざわざ詫急便で送っているお客もあります。 ②身体の都合悪い方には配達サービスも開始 ③レジ待ち時間に野菜についてのレシピ交換も生産者とお客さん同士でコミュニケーションをとっている ④はじめはお客が来てくれるかが一番の心配だったが、現在は毎回お客が来てくれるので冬場の寒い時期でもお客さんの期待に答えるため畑に行く気持ち起こさせるようになった事。 |
| 今後の課題 | ①細河は露地栽培のみでハウス栽培はありません。従って正月から3月までは全く青物野菜はありませんし、夏場はお盆明けは10月までありません。 ②1年を通じて商品を提供するには、仕入販売や加工品販売も考えお客の要望にこたえなければなりません。 ③そのために道の駅的な他所の販売店を見学研修し、植木産業だけでなくそれも含めた畑産業を考えねばならない。 |

2025年 6月 3日

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 細河地域コミュニティ推進協議会
代表者名 金子昌義 (金子)印
(総務部会 橋本 肇)

記

| | |
|----------|--|
| 事業の内容 | ①みどりの郷 案内所 AM9:00~PM 16:30 毎週火曜日休館日 細河の自然環境や地場産業等を活用し、値域の活性化とコミュニティー意識の高揚を図るため。 |
| 事業実施前の状況 | ①元細河消防署分団の建て替え廃棄された建物を協議会事務所にリフォームして活用した。場所的には中川原町で郵便局・JA・園芸センター・小学校が隣接し正に細河の中心地である。 ②5台ほどの駐車スペースもあり集会場としては理想的な場所である。 ③この場所を活用しないかとはむしろもったいないのであります。 |
| 事業の効果 | ①朝市販売所でもあり、バス停も近く今年度のクールステーションでは63名もの人がみどりの郷を休憩所として利用された。 ②細河への散策者も徐々に増えてきた ③地元の方も畑仕事の合間に立ち寄られてコミュニケーションを図る ④グラントゴルフ場の申込受付 ⑤細河地区の小公園の補修管理 |
| 今後の課題 | ①みどりの郷がその役目を十分果たすに従い、維持管理費が高騰する。 冷暖房費・水道光熱費・事務機械リース料・修繕費・設備拡充費等 ②常駐スタッフの人件費等 |